

安心安全情報

住宅用火災警報器の 設置は義務です！

平成 23 年 6 月から、すべての住宅が住宅用火災警報器の設置義務対象となっています。住宅用火災警報器を設置したことにより、火災に気づくことができ助かった事案もあります。いざというときに自分の命、家族の命を守るように住宅用火災警報器を設置しましょう。また、警報機は電池で動いているので、定期的な作動確認を行いましょう！

これからの季節は気温が低下するため暖房器具の使用頻度が増え、毎年、暖房機器を原因とした火災が発生しています。火災を未然に防ぐため、ストーブの周りに燃えやすいものを置かない、ガスコンロのそばを離れるときは必ず火を消すなど心がけましょう！

●問・危機管理課 TEL 23 - 1175

みんなで学ぶ 子育て広場

11 月は児童虐待防止 推進月間です

現在、保護者や同居人による子どもへの虐待が社会問題となっており、子どもの生命が奪われる重大な事件が後を絶たないなど、深刻な状況が続いています。

児童虐待には、子どもを叩く・蹴るなどの「身体的虐待」、食事を与えない・放置するなどの「ネグレクト」、暴言・無視で傷つける「心理的虐待」があり、将来にわたって子どもに深い傷を与え、心身の成長や人格形成に大きな影響を及ぼします。

虐待を受けたと思われる子どもを見つけた時や、ご自身が出産や子育てに悩んだときは迷わずにご相談ください。

児童相談所 いちはやく
全国共通
3桁ダイヤル **189**

●問・子育て支援課 TEL 23 - 1278

ALT (外国語指導助手) コラム

ホスピタリティ

～アフガニスタン流おもてなし～ モハメッド先生

アフガニスタン人は世界でもホスピタリティにあふれた人たちである言われています。これは、アフガニスタンがシルクロードの旅人にとって重要な都市であったことも関係しています。ゲストは友人であれ、初対面の人であっても手厚く歓迎されます。一緒に食事や水を飲むだけでも、友情や信頼を表しています。お茶に招待されたら、ホストの心こもったコース料理がでてくると覚悟をしてください。また食後は紅茶と一緒にドライフルーツが出てきます。もし紅茶がいない場合はカップの上に手をかざし、「バス」と言ってください。「もうお腹いっぱいです」という意味です。



(訳：満留由紀子)

トニーの Kolumne (コラム)

Drachen steigen lassen (凧あげ)

季節が変わると、秋の風が吹いてきます。ドイツの絵本では、秋をテーマにした風景として凧あげが描かれています。秋の風が凧あげに適しているためです。この時期は風が吹くと子どもから大人まで、みんなで凧あげをします。いろいろな形の凧が空に浮かんでいるのが、ドイツの秋の景色です。このような、季節の移り変わりとして深くつながる習慣は、現在の子ども達でも楽しく自然と触れ合うきっかけとなっているので、残していくべき習慣だとも思います。写真は凧をあげる私の娘です。

